

キャリア形成プログラム

(地域医療支援センター)

| | |
|-------------|------------------|
| 取得を目指す専門医資格 | 総合診療専門医(家庭医療専門医) |
|-------------|------------------|

【コースの概要】

全体像

総合診療専門医コースでは、2年間の初期臨床研修の後、県内の指定された研修病院の中から本人の希望を考慮して研修先を決定する。

主な研修内容は、3年目は和歌山医大(もしくは南和歌山医療センター)救急外来を3ヶ月、各病院の内科各科をあわせて6ヶ月の研修を行い、急性期・慢性期の内科全般についての理解を深める。3ヶ月は小児科研修を行い、小児の急性疾患の診療を経験する。4・5年目は、県内の公的病院で研修を行う。6ヶ月は選択肢の中から自身の希望を考慮して研修診療科を決定する。その後の18ヶ月は「総合診療の場」を中核病院にするのか、小病院にするのかにより、期間・研修内容を変更する。中核病院では、指導医とともに内科として入院・外来を担当し、地域に密着した医師を目指して研修を行う。小病院では、外来を中心に既存の診療科を超えて対応できる医師をめざして研修する。

6・7年目の大学での研修は、大学附属病院救命センターもしくは紀北分院内科で行う。また、希望があれば国内外に留学し、総合医・家庭医などの指導者育成のための研修を併せて行うことができるように配慮する。

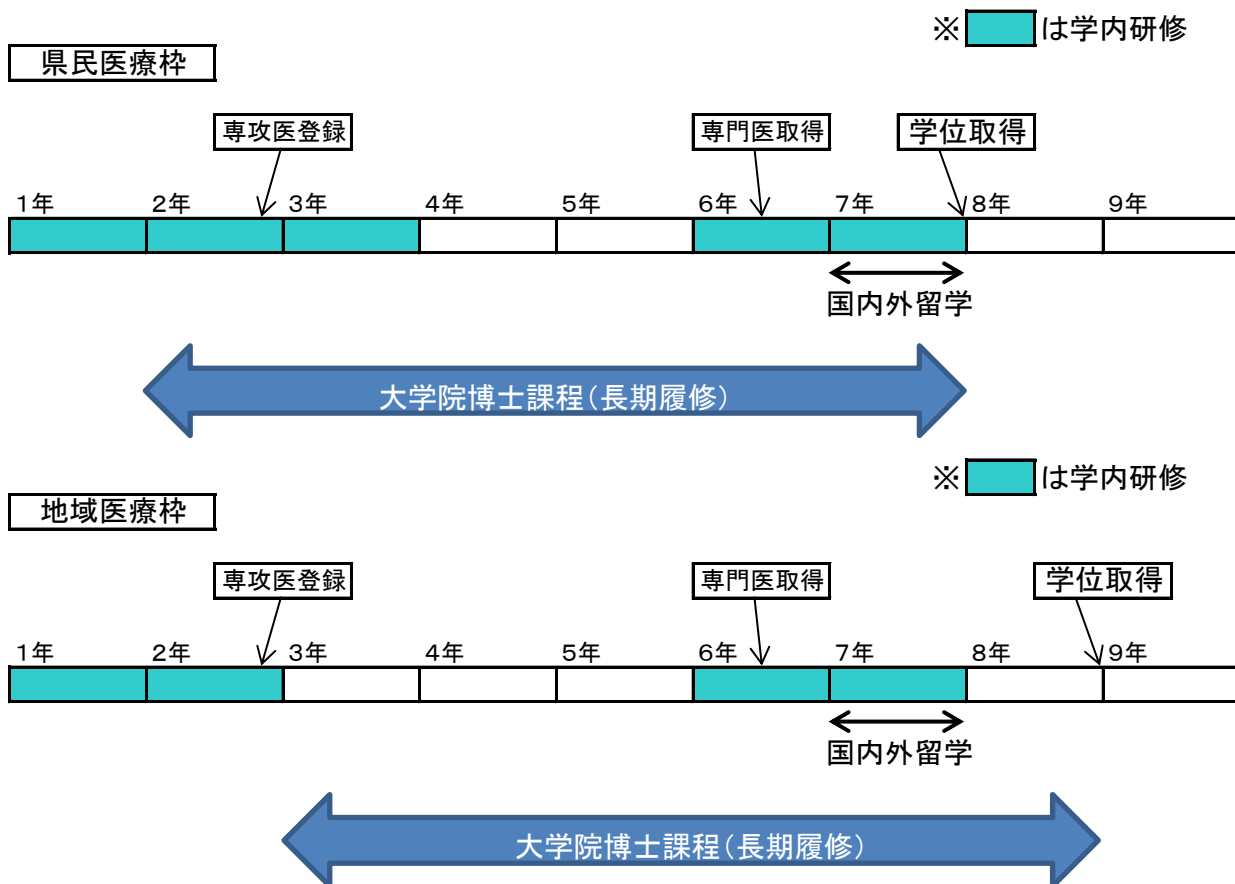
8・9年目は、本人の希望を考慮し、総合診療専門医として研修と後進の指導を行う。

10年目以降は、制約せずに個人の希望を尊重する。

9年目までのいずれの時期かに大学院に入学し、地域医療を実践している際に気づいた疑問を解決することを通して学位の取得を目指す。

地域医療枠医師も類似した研修を行い、総合診療専門医・学位を取得できる。

・9年間の研修予定(モデルコース)



指導体制

・研修先病院

| へき地拠点 | 学会認定施設 | 研修病院名 | 診療科 | 指導者数 (人) | うち専門医 数(人) | 受入可能最大 人数(人) |
|-------|--------|--------------|---------------------|-------------|---------------|-----------------|
| × | ○ | 紀北分院 | 内科 | 1 | | 3 |
| ○ | ○ | 紀南病院 | 内科・小児科 | 2 | | 3 |
| × | ○ | 公立那賀病院 | 内科・小児科 | | | 3 |
| × | ○ | 橋本市民病院 | 各科 | | | 3 |
| × | ○ | 高野町立高野山総合診療所 | — | 1 | | 3 |
| ○ | ○ | 国保野上厚生総合病院 | 内科 | 1 | | 3 |
| × | ○ | 北出病院 | 内科 | 3 | | 3 |
| × | ○ | 南和歌山医療センター | 内科・救急科 | | | 3 |
| ○ | ○ | 紀南病院 | 内科・小児科 整形外科・泌尿器科 | 1 | | 3 |
| × | ○ | 白浜はまゆう病院 | 内科 | 1 | | 3 |
| ○ | ○ | 国保すさみ病院 | 内科 | 1 | | 3 |
| ○ | ○ | 那智勝浦町立温泉病院 | 内科・リハ科 | 1 | | 3 |
| ○ | ○ | 新宮市立医療センター | 内科・外科 産婦人科 | | | 3 |

・専門医について

| | |
|---------|---|
| 学 会 名 | 日本プライマリ・ケア連合学会 |
| 資 格 要 件 | <p>後期研修プログラム(3年以上)を修了すること</p> <p>総合診療18ヶ月、内科6ヶ月、小児科3ヶ月、救急科3ヶ月を含む 研修期間中にポートフォリオを作成すること</p> <p>修了後に行われる試験(臨床能力評価試験・論述試験)に合格すること</p> |